



さまぎまの

虫のこゑにも

しられけり

いきとしいける

ものの思ひは

明治天皇御製

ニホンミツバチは日本在来のミツバチです。明治時代の初めにセイヨウミツバチがわが国に導入されて絶滅が心配されてきたニホンミツバチですが、この横浜の中心にある伊勢山皇大神宮の境内には生き残っています。街路樹のサクラ、公園のスタジイ、生垣のカナメモチ等の花が花蜜や花粉を提供してくれます。ニホンミツバチの棲息は自然環境の豊かさを測る環境指標ともなります。しかし数年前から急速に群れの数を減らして来ました。横浜市街の環境も変化はしていますが、それを上回る急激な現象です。ニホンミツバチは働き者でおとなしく、辛抱強く生き抜いています。減多に刺しませんが一匹の仲間であることが災いし、人に見つかるど殺虫剤を撒かれ殺されてしまいます。十年程前から殺虫剤の基本成分が変わりました。新成分は哺

『大祓式』

- ・ 執行日 12月31日
- ・ 時間 13時・16時
- ・ 内容 大祓とは、半年ごとに罪穢を人形ひとがたに移し大祓詞を奏上し祓清め、厄災疫病を防ぐ、我が国で古来より続けられてきた神事です。



乳類には余り害を及ぼしません。昆虫類の駆除には画期的な効果を持つことが証明されました。スズメバチ退治用とはいえ殺虫剤売場の禍々しさは皆様ご存知のとおりです。この新成分の殺虫剤はミツバチにも大変な脅威です。また、チョウもトンボも姿を見なくなりました。早春、タンポポの花に飛び交うモンシロチョウはありふれた光景でしたが今年のモンシロチョウの初見は五月も末の頃でした。十一月を迎えた横浜の市街地の空にトンボの姿を見つげるのも困難です。気温の変化も大きな減少理由です。ミツバチの巣は一定の温度以上になると溶け始めます。特にニホンミツバチの巣はセイヨウミツバチに比べて溶解温度が低いようです。夏、高温が続くとミツバチは巣穴の前に水を撒き羽で扇いで気化熱を利用して涼しい風を巣穴の中に送り込み中の温度を一定に保とうとします。連日、猛



『新嘗祭』

- ・執行日 11月23日
- ・時間 10時
- ・内容 秋に実った稲穂をはじめ五穀等を献上し、豊作を感謝するお祭りです。門柱と瑞垣には神奈川県で採れた稲穂の束である「懸税」が掛けられます。

暑日が続くとミツバチの努力にも限界があります。巣を捨てて逃去します。今春はニホンミツバチの姿を見ることがありませんでした。

ハチの活動によって自然はより豊かになり、ニホンミツバチを見守ることで私達の自然を見る目もより深くなります。

なおニホンミツバチの蜂蜜は幻の蜂蜜とも言われています。ミネラル分が特に豊富で独特の風味が珍重されています。ほんの少量しか採れません。伊勢山皇大神宮の鎮守の杜から生まれた天然の味を復活させたいものです。

境内で伐採した木々は境外へ持ち出せば廃棄物ですが、なるべくキノコ菌を打ち付けて森へ返しています。サクラにはナメコ菌、コナラにはマイタケ菌をムクにはヒラタケ菌と用途を分けています。四、五年たつと



土に還り土壌を富ませます。今年はスダジイが大きな実をたくさん地面に降らせてくれました。さほど広くはない境内ですが気候と虫や菌類の働きのなかの微妙な変化で、大地は生きて脈動しているのだと実感しています。

十一月早朝、冷気の中にミツバチの羽音を聞きました。この気温ではセイヨウミツバチは未だ活動できません。白に緑を佩いた清楚な茶の花にミツバチが飛び交っていました。絶滅したと思っていたニホンミツバチです。巣の場所は分りませんが生き残ってくれていました。来春が楽しみです。鎮守の杜が守ってくれていたのです。

伊勢山皇大神宮のお参りでは神前で神様のご加護と共に健全な森と大地の正気を感じ取っていただきたいと思えます。

『節分祭』

- ・ 執行日 2月3日
- ・ 時間 14時頃
- ・ 内容 立春の前日に魔除厄除として、その年の年男年女が豆まきをします。





創建 150 年記念事業

地鎮祭





神楽殿・参集殿

平成 27 年 6 月 28 日 神楽殿並びに参集殿の地鎮祭が執り行われました。

この神楽殿・参集殿は本殿の遷座祭の際に御神体を御遷しする仮殿となります。本殿遷座祭に向けて大きな第一歩を踏み出しました。平成 29 年 6 月に竣工予定となっております。

伊勢山皇大神宮 年間恒例祭典

- | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|--------|-------|-------|------|----------|------|------|------|---------|---------|----------|
| 四月二十九日 | 四月九日 | 四月三日 | 三月二十一日 | 二月十七日 | 二月十一日 | 二月三日 | 一月十二日 | 一月七日 | 一月三日 | 一月一日 | 十二月三十一日 | 十二月二十三日 | 每月一日・十五日 |
| 大神神社磐座例祭 | 神武天皇祭遥拝式 | 春季皇霊祭遥拝式 | 祈年祭 | 紀元祭 | 節分祭 | 成人祭 | 昭和天皇祭遥拝式 | 元始祭 | 歳旦祭 | 除夜祭 | 大祓式 | 天長祭 | 月次祭 |